

【請願】

番号	件名	請願事項
<p>請願 第1号</p>	<p>「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・ 「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書</p>	<p>2025年度予算編成の件につき、以下の内容の意見書を政府及び関係行政官庁あてに提出していただきたい。</p> <p>1 どの子にもゆきとどいた教育をするため、国の責任で以下の3点を検討し、必要な教育予算を確保すること。</p> <p>(1)さらなる少人数学級の推進。 (2)複式学級の学級定員の引き下げ。 (3)教員基礎定数算出に用いる「係数」の改善。</p> <p>2 教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に復元するなど拡充すること。</p>
<p>請願 第2号</p>	<p>「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書</p>	<p>2025年度長野県の予算編成について、以下の内容の意見書を長野県知事・長野県議会議長あてに提出していただきたい。</p> <p>1. 教育の機会均等と中山間地域における教育水準の向上をはかるため、へき地手当およびへき地手当に準じる手当の支給率について、都市部との格差（相対的へき地性）がいつそう拡大している実情を十分把握しつつ、近隣県との均衡を勘案し、2005年度以前の水準に戻すこと。</p>